

寒川町議会総務常任委員会協議会における「協働 PR チラシ」の
作成、全戸配布に関する報告時の意見等（抜粋）

日 時：平成 27 年 7 月 17 日（金）
場 所：議会第 1 委員会室

（1）チラシに関連する意見

- ・行政主体の 4 コマ漫画で責任の所在について触れられておらず、結局町のお手伝いと捉えられてしまうのではないか。
- ・ちらし配布後の展開は行政として考えているのか。
- ・町民のみなさんが見た時に、砂場の入れ替えがなぜ協働なのかと思うのではないか。
- ・ちらしを配布したことによる反響や効果測定はどのような形で測定するのか。
- ・町民からの問い合わせにどう対応させるのか準備はあるのか。
- ・町は、どのような効果が生まれると考えてこのちらしを配布するのか。

（2）その他の意見

- ・協働事業提案制度モデル事業に提案された 4 つの事業担当部署も協働について理解がされ、共通認識が図られているのか。
- ・マニュアルがないと担当により対応が変わってしまうことがあると思うが、マニュアルはいつ作るのか。
- ・なぜ自治基本条例の寒川のまちづくりが進んでいないのか、行政の中で議論はあったのか。
- ・協働への取り組みを抜本的に改めないといけないのではないか。このちらしによるきっかけ作りだけでいいのか、目指すものは何なのか、協働はなぜ必要なのか。
- ・その他、作成に係る手続き、議会に対する報告についての意見等

協働PRチラシについて町民の方から寄せられたご意見（要約）

（1）協働」と大きく書かれた面

「協働とは」の捉えの文言と文書。

- 1 「理解・補完」・・・《理解》と《補完》を並列にしていますが、意味の離れている文言を並列に置くことによって更に意味不明になります。
- 2 「対等な立場」・・・この文言の説明が必要です。
- 3 従って、この文章の意味が理解不能。
- 4 この文章のさらに下側三行の文章は、意味不明の文章。文章になっていません。
- 5 「協働の領域図」・・・領域にしたカテゴリーが不明。であるので、理解が難しい。

（2）裏面

- 1 マンガ風に例を挙げて「行政主体」と「町民主体」を説明しています。
「行政主体」の例は、何を言おうとしていますか。この内容は環境課の「仕事内容なのか、町民から昆虫調べの時期といわれて行うのか、団体に頼む例なのか」不明。
- 2 「町民主体」の例は、「町民の訴えの窓口は協働文化推進課ですよ、と言っているのか。砂入れの例を挙げて材料と処理は役場の仕事で加工・組み立て・作製などは町民の仕事です。と言っているのか」。このケースでは、自治会ならびに自治会長の役割は、町会議員の仕事は、立ち上がった「地域担当」の役割は、どうなっていますか。それらとの関係は。
- 3 この例で「協働」を本当に表していますか。「寒川町まちづくり推進会議」にはいろいろな分野から代表が委員になっていますが、議論を十分に練りましたか。専門的な立場の大学の先生も委員にいますか。はなはだ疑問。

（3）最後に見開き部分。

- 1 「協働の必要性とは」・・・4行目より6行目までの文章。この文章は「協働」に関係なく、当たり前なことでしょう。そのためにしかるべきもの(税金など)を納めているのでしょうか。
- 2 ステップ1・・・最初の一步は吏員と町民の精神論を言いたいのですか。
- 3 ステップ2・・・「協働に大事なこと」の内容ですから、平易に表現することと、括りの太字タイトルか分かりにくい。
- 4 ステップ3・・・ここで急に「パートナー」の文言が出ていますが、「町民」の表現がぴったり。今までに使っていない文言は理解不能につながる。「形態」の分け方、カテゴリーに無理がみられ、ある面では乱暴に括り。
ここで言いたいことは、現在しっかり「協働」はできていますよ、とすることを強調したいのでしょうか。参考事例もよくわかりません。

公文書は一人歩きしますから、「協働」という響きに踊らないで、十分に検討吟味され、いろいろな方の眼を通して作成発行されたいと切に願う。